

# 命を守る政治。

元防衛・外務副大臣  
衆議院議員候補

内閣総理大臣  
自由民主党総裁

中山泰秀

高市早苗



I ❤️ OSAKA®  
[www.iloveosaka.jp](http://www.iloveosaka.jp)

公認  
自民党



日本列島を、強く豊かに。

# いざという時、本当に頼れる政治であるために。

物価高、治安不安、災害、国際情勢。

いま私たちは、先の見えない不安の中で暮らしています。

「何かあったら、どうなるのだろう？」

それが、いまの日本で暮らす多くの人の、

率直な実感ではないでしょうか。

## 01 | 暮らしを守る。まず、今日の食卓から。

「物価高で苦しい」 今回の選挙で、最も多く聞かれる声です。

スーパーで値札を見て、「今日はこれをやめよう」と考える。

そんな場面が、いま当たり前になっています。働いている。節約もしている。それでも苦しい。それは、あなたのせいではありません。

高市内閣は、実質賃金はプラス化する見通しである一方、食料品の価格は高止まりするとしています。だからこそ、国民の手取りを確実に増やす対策が必要です。

高市総理は、軽減税率が適用されている飲食料品について、2年間に限り消費税の対象としない方針を明言しました。

私はこの決断が、生活者の負担軽減として確実に届くよう、実行の先頭に立ちます。

## 02 | 治安を守る。孤立を生まない。

闇バイト、詐欺、身近な犯罪。

これは「自己責任」で済ませられる問題ではありません。

一度の判断ミスで、誰もが被害者にも、加害者にもなり得る。

国・自治体・警察が連携し、犯罪を未然に防ぐ対策を強化します。

孤独や孤立も、他人事ではありません。若者、子育て世代、高齢者。一人で悩みを抱え込まない社会へ。

人と人がつながる、それを支えるのも、政治の役割です。

## 03 | 危機に強い経済を、未来へ。

世界は不安定さを増し、経済と安全保障は切り離せなくなっています。エネルギー、食料、重要物資。災害に強い国土。

止まらないサプライチェーン。サイバー空間の安全。

平時も、緊急時も、社会を止めない。

未来への投資こそが、最大の安全保障です。

## 04 | 安心して学び、暮らせる日本へ。

教育の無償化を着実に進め、全世代型社会保障のもと、社会全体で責任をもって支える仕組みを整えます。教育の質を高めるために、教える人が安心して誇りを持って働く環境も整えます。

災害や有事に備えた国民保護体制。行政のデジタル化で、

日常の中でも誰もが迷わず支援を受けられる社会へ。

不安があるから、備える。備えがあるから、前へ進める。

## 05 | 外交と防衛。命と暮らしを守る力。

国際情勢の変化は、私たちの生活に直結しています。

理念だけでは、国は守れません。

経験と現実感覚が、最大の抑止力です。

同盟国・友好国との連携を強化し、法の支配と民主主義に基づく外交を進めます。

防衛力の整備、防衛産業基盤の強化、そして自衛隊員の待遇改善。抑止力は、暮らしを守る力です。

## 06 | 子どもの命を守るために。少年法の現代化。

近年、SNSには「いじめの動画」と呼ばれる映像が数多く投稿されています。水中に突き落とす。首を絞める。

それは、もはや「いじめ」ではありません。

一方で、SNSには、これまで見過ごされてきたいじめや暴力を明るみに出し、社会の抑止力として機能してきた側面もあります。実際、SNSがあったからこそ、救われた命や、是正された問題もあります。

私は、SNSそのものを縛りたいとは思っていません。

善意の告発や注意喚起など、社会を守るために使う方は、これからも自由であるべきです。

しかし同時に、命を危険にさらす行為や、それを煽り、無秩序に拡散する使い方には、はっきりとノーを言わなければなりません。戦後の社会状況を前提に作られた少年法は、集団化・凶悪化、そして暴力が拡散され、模倣され、被害が繰り返される現代の構造に、十分対応できているとは言えません。

子どもの更生を重視する理念は、これからも守るべきです。

しかし同時に、被害者の命と尊厳を、最優先に守らなければなりません。

私は、子どもを罰したいのではありません。

二度と、命が奪われない社会にしたいのです。

生命に重大な危険を及ぼす行為は「いじめ」とは区別し、行為の悪質性に応じた責任の在り方を明確にする。

少年法を、子どもたちの命を守る制度へと、現代化します。

守るべきは、制度ではありません。子どもたちの命と、未来です。

## 未来を縛らない政治へ。

### 人の命と日々の暮らしを守るために。

改革は必要です。しかし、壊してはいけないものがあります。

それは、人の命と、日々の暮らしです。

次の世代にツケを回さない。そのため、決める政治、動く政治を実現します。正しそうな言葉より、実行できる覚悟を。

## 有権者の皆さまへ

いま日本は、「いざという時に、誰を信じるか」が問われています。

困ったとき、本当に届く政治か。命と暮らしを、守り切れる政治か。

## その判断の前に、あなたの「票」があります。

# 【信頼の実績】防衛・外交・危機対応の最前線で、国の責任を担ってきました。



【略歴】衆議院 当選5回 昭和45年10月14日大阪市北区生まれ 55歳

● 学歴  
追手門学院小学校卒業(94期生)  
高校時代 フランスに3年間留学  
成城大学 法学部 卒業  
早稲田大学大学院 修了(修士)  
平田竹男教授に師事

● プログラム  
米国国務省招聘により IVP研修留学  
イエール大学上級政治指導者育成プログラム 第1期生

● 職歴  
株式会社 FFRIセキュリティ 取締役  
株式会社 電通  
総務庁長官秘書官 建設大臣秘書官  
衆議院議員 小池百合子(元防衛大臣) 政策担当秘書  
衆議院議員 中山正暉 政策担当秘書

大阪府第4選挙区



《大阪事務所》〒530-0047

大阪市北区西天満4-4-12 ☎ 06-6363-0781

✉ office@iloveosaka.jp



YouTube  
中山泰秀公式